

令和元年度第2回当別町地域公共交通活性化協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時：令和元年10月15日（火） 10：00～11：10

場所：当別町役場 第二庁舎 2階 会議室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり

3 協議会の概要

(1) 次第2報告事項「当別町コミュニティバスの令和元年8月までの実績報告について」

資料1に基づき事務局より説明した。

杉澤委員：デマンドについて、H29年の8、9月の利用者数が大きく伸びているが、何か取り組みを行ったのか。

事務局：記憶ではH29年夏は非常に暑かったため、移動の手段としてデマンドバスを使用する方が多かったのではないかと。また高齢者クラブを訪問し、コミュニティバスやデマンドバスについて告知活動を行っていた。それも利用者増加に繋がったのでは。

会長：確かに数字を見ると大きく増加している。詳細を調べ、杉澤委員に報告するように。

(2) 次第2報告事項「バス停留所の名称変更について」

資料2に基づき事務局より説明した。

樺戸町の「ラルズ」が「スーパーアークス」へとリニューアルしたため、バス停名称を「スーパーアークス前」に変更する。

質疑なく、承認された。

(3) 次第3協議事項「令和元年12月1日付け運行ダイヤ改正（案）について」

資料3に基づき事務局より説明した。

冬期間の各路線の運行時間延長及び運転手の休息、交代時間確保を考慮しダイヤ改正を行う。

質疑なく、承認された。

(4) 次第3協議事項「ふれあいバス運賃について」

資料4に基づき事務局より説明した。

10月1日に消費税10%となったが、ふれあいバスについては200円で気軽に乗れることが大きな魅力となっていることあら、運賃は200円とする。

質疑なく、承認された。

(5) 次第3協議事項「JR 札沼線一部区間の廃止に伴う代替バス運行に係る協議について」

資料5に基づき事務局より説明した。

令和2年5月7日に JR 札沼線北海道医療大学以北区間が廃線となる。その約1か月前となる令和2年4月1日より代替バスを運行する。

運賃については、同一町内区間は200円。当別町～月形町、月形町～浦臼町の町をまたぐ区間は400円。当別町～浦臼町へ乗り継ぐ場合は600円。町堺の各町2停留所間での乗降は200円。小学生・障がい者はそれぞれ半額となる。また小学生以上1名につき、幼児2名までは無料。回数券は11枚つづり（ふれあいバスは12枚つづり）、定期券は1か月、3か月、6か月の3パターンで、それぞれで割引率が異なる。回数券、定期券ともに、美唄自動車学校・下段モータース・代替バス車内で販売する。

小川委員：代替バスとふれあいバスの停留所で重複する区間があると思うが、お客様が誤って異なるバスに乗ってしまった場合、回数券・定期券が使えないとクレームになるリスクがあると思うので、対策を取った方が良いのではないかと。

事務局：「スーパーアークス前」が最もその可能性が高いと思われる。バス停やバス車内で注意喚起するものを掲示するなどの告知をしていく。

竹原委員：定期券の販売について。ふれあいバスの定期券は商工会でも販売しているが、代替バスについては説明のあった場所のみとなるのか。

事務局：月形町の意向もありこのように設定している。定期券を購入する方の多くは月形町民となる見込み。月形町内の商店で販売することが難しい等の理由があり、代替バス車内を中心とした販売としていく。

その他質疑なく、承認される。

(6) 次第4 その他「当別版 - Local MaaS について」

資料6に基づき、一般社団法人北海道開発技術センター竹口氏から説明。

バスロケーションシステム、定額タクシーサービス、デリバリーバスサービス、アプリ開発について説明。

杉澤委員：デリバリーバスサービスの対象エリアは限定的なものか、それとも当別町全域か。

一般社団法人北海道開発技術センター：今後のアンケート調査等から決定していく予定だが、デマンドバス対象エリアが基準となると考えている。

(7) 次第4 その他「今後のスケジュールについて」

資料7に基づき事務局より説明した。

冬のバスダイヤ配布日程、今後の協議会日程、来年度の事業者との運行契約締結日程について説明。質疑なく、承認された。

以上